

第1回 新任教員セミナー

国際文化学研究科の新任教員の研究内容を紹介・発信し学部や大学院での学術交流を促進することを目的に開催するセミナーシリーズです。

第1回はフランス文学と認知神経科学がテーマです。

日時：2021年10月22日（金）13:20～14:50

場所：オンライン開催（Zoom）

講師：石田雄樹（国際文化学研究科講師）

「幸福はどのように語られるのか
—レチフにおける一人称の語りの多層性—」

北田亮（国際文化学研究科准教授）

「ヒトの触覚コミュニケーションの認知神経科学的研究」

司会・コメンテーター：松本絵理子（国際文化学研究科教授）

コメンテーター：小松原哲太（国際文化学研究科講師）

申込方法：お申し込み専用フォーム bit.ly/promis1022



※お申し込み後、自動返信にてオンライントークにアクセスするためのURLを送付いたします。

講師略歴

石田雄樹

専門はフランス文学・思想、物語論。特にレチフ・ド・ラ・ブルトンヌ作品について。東北大学大学院文学研究科博士課程終了後、同大学院助教を経て、2021年4月より現職。著作に『フランス文学の楽しみかた：ウェルギリウスからル・クレジオまで』（共著）（ミネルヴァ書房、2021年）など。

北田亮

2005年京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了。クィーンズ大学博士研究員、日本学術振興会海外特別研究員、生理学研究所助教、南洋理工大学准教授を経て、2021年から神戸大学大学院国際文化学研究科准教授。日本心理学会国際賞奨励賞受賞（2015年）。